

12月に入り本格的に冬の到来を感じている。この時期に来て多くの学生は通学に学内バスを利用するため、異常なまでにバスが混んでいる。また、秋学期が終了し、学生のほとんどが帰省したため、キャンパス内及び、キャンパス周辺は非常に静かである。今回の報告は主として、秋学期に履修した講義の感想と Winter break と New York trip について報告する。

<秋学期に履修した科目>

- ・ ESL 110 : English Pronunciation for Academic Purpose
- ・ ESL 113 : English Structure & Paragraph Development
- ・ EALC 250 : Intro to Japanese Culture
- ・ HIST 172 : US History Since 1877

ESL 110

基本的な英語の発音や、多くの International student が苦手とする箇所をピックアップして学んだクラスである。自分自身 Pronunciation は苦手な方なので苦労したクラスの一つであったが、先生の教えや新たに親しくなったクラスメイトとの励ましあい最後までやり遂げることができた。

ESL 113

基本的な essay の書き方から学術的な論文の書き方まで幅広く学んだクラスである。さらに、宿題に一番時間を費やしたクラスでもある。先生の extra assignment やクラスメイトの助けもあってクラスが始まった当初に比べれば skill は向上したように思えるが、まだまだ難しい。春学期も引き続き writing のクラスは必要であるので、ESL114 を履修し skill を向上させていきたい。

EALC 250

日本の文化や歴史を学んだクラスである。トレーニングの意味で受講したクラスであるが、正直きついクラスであった。しかし、講義内容や教授の教え方が非常に特徴的で興味のそそられる内容であったため、Exchange student が最初に受講するクラスとしては良いと思う。

HIST 172

1877年以降のアメリカにおける社会性や論争などによる問題を学んだクラスである。このクラスも本当に難しいクラスであった。しかし、Chris を含めアメリカの文化や歴史を知っている友人の支えもあって最後まで受講することができた。

<春学期に履修する予定の科目>

- ・ ESL 114 : Intro to Academic Writing
- ・ ME 170 : Computer-Aided Design
- ・ ME 370 : Mechanical Design I
- ・ ME 597 : Independent Study

春学期は上記に記した科目を履修する予定である。各科目 3hours ずつなので合計 12hours となる。いよいよ Mechanical Engineering のクラスを履修することとなり興奮と不安が入り混じっている。

Winter break

UIUC も 12 月 20 日から一ヶ月間の冬休みに入った。冬休み中はシカゴ旅行にスキー旅行など楽しい計画が盛り沢山なので楽しい休暇にしたいと思う。さらに、普段から親しい友人である J-NET 会長から自宅への招待を受けているので、年明けに行く予定である。

New York trip

私は Summer break を利用し 8 月 13 日から 8 月 24 日の期間、ニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントン DC へ出かけた。メンバーは私と 3 人の韓国人留学生である。1 人の韓国人留学生 Minjong とは IEI の時に親しくなり、残りの 2 人は Minjong がシカゴにいた頃に親しくなった友人であったため、この 2 人とは初対面であった。しかし、すぐに打ち解けることができた。

シャンペーンから朝 12 時発の LEX バスを利用してシカゴで待つ友人 2 人と合流。その後、レンタカーを借り、朝 2 時頃ニューヨークへ向けて出発した。走行距離 1863miles(3000km)、今までに体験したことのない距離を走ることとなった。

私は渡米にあたって International Driver License を取得し、アメリカへ持参していたので、レンタカーを運転することができた。しかし、友人 3 人のうち Driver License を持っているのは 1 人だけだったため、私と友人 1 人が運転をスイッチしながらの走行となった。

高速道路は広く比較的運転しやすかったが、一般道路に出たときは少し緊張した。と言うのも、アメリカは、左ハンドルはもちろんのこと右側通行であるため、日本とはまったく逆の交通事情となる。さらに、ウインカーとワイパーも逆であるため、初めて方向指示器を出したとき、誤ってワイパーを動かしてしまい、友人から「天気いいけど、どうしたの?」とジョークが飛び出すなど、なんとも愉快的なドライブであった。

ニューヨークでは、多くの観光場所や有名なモニュメントなどを見ることができた。特に印象に残っているのはヤンキースタジアムでのメジャーリーグ観戦だ。1923 年に建設された伝統あるヤンキースタジアムでの観戦も 2008 年までで、2009 年には新球場が完成する。最後の年に伝統あるヤンキースタジアムで観戦できたことは非常に嬉しいことだ。さらに、セブンス・イニング・ストレッチと呼ばれる 7 回裏の攻撃が始まる前の休憩と応援タイムには、有名な「Take me out to the Ball Game」をみんなで大合唱するなど、鳥肌が立つほど感動した。

フィラデルフィアでは、独立記念の建物や鐘など記念モニュメントが飾られており、町並みも本当に美しく、心から安らく町であった。

最後にワシントン DC では、ホワイトハウス、リンカーン記念館、ワシントン記念塔など多くの有名なモニュメントを見ることができた。

その他

秋学期を通しての感想は多くの発見や、学ぶべきことが見つかった実りの多い 1 学期だったと思う。クラスで学んだこと、友人から学んだことは、私にとってかけがえのない財産だ。この 1 学期間で多くの友人とめぐり合い、様々な経験をすることができた。自ら行動し、新たな輪の中に入ることは非常に勇気の入ることだが、踏み出す一歩が大事だと感じている。また、その一歩があったからこそ、色々なことを経験することができたのではないかと思う。渡米前に予想していた以上のことがここには多くある。本当に留学できたことを嬉しく思う。残すところ、春学期だけとなったが、春学期はメジャークラスへのチャレンジのセメスターである。これまでとは違うセメスターが予想されるが、自己管理をしっかりと保ち、楽しく充実した留学生活にする。



図1. Drive route



以上